

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

合言葉は『全員がお助け隊!』

●災害時一人も見逃さない運動

西区玉津地区の4つのふれあいのまちづくり協議会・防災福祉コミュニティ(玉津・出合・枝吉・高津橋)は、災害時要援護者への支援体制作りを進める西区計画『災害時一人も見逃さない運動』のモデル地区として、「お助け隊」と共に、お年寄りや体の不自由な方を守るための新たな取り組みを進めています。

このたび、4つのふれあいのまちづくり協議会・防災福祉コミュニティ、自治会、西区役所等が集まり、知恵を出し合い検討を重ねてきたことについて、合同防災訓練を活用してイメージの具体化をおこないました。

●玉津4地区合同防災訓練

毎年、大規模な合同防災訓練を実施しています。今年は、9月29日に玉津中学校で開催され、約300人の地域住民が参加しました。その中には23人の中学生ボランティアが含まれ、受付や炊き出しのお手伝いをしました。

災害時における自助・共助の力のさらなる向上のため、今回は、これまでより実践的で体験型の訓練を計画しました。たとえば、突然発

生した火災を想定し、突然参加者に抜き打ちで模擬消火をさせたり、装具を使用して高齢者や視覚障がい者などの疑似体験をしていただきました。

そのほかにも、救急訓練や給水訓練、避難所設営訓練、東日本大震災写真展など盛りだくさんの内容となりました。

●「お助け隊」とは?

防災福祉コミュニティや自治会の役員等に限らず、地域住民全員が当然に周囲の人を助ける「お助け隊」になることを目指しています。今回の訓練では、災害時に避難所で姿が見えない人のお宅に「お助け隊」が安否確認に行き、協力して救出するという実験的な訓練もおこないました。

●訓練結果と今後の進め方

訓練後は、地域住民や協力団体が振り返りと意見交換をおこないました。

今回の訓練結果を踏まえ、『災害時一人も見逃さない運動』の取り組みをさらに発展させるとのこと。「玉津4地区」の今後の活動にご期待ください。(西消防署 上月信幸)



抜き打ち模擬消火訓練



要援護者疑似体験